

# NEWS LETTER



京都教育大学  
附属教育実践センター機構

Kyoto University of Education  
Organization of Educational Research and Practice Centers

第14号(2013.8.21)

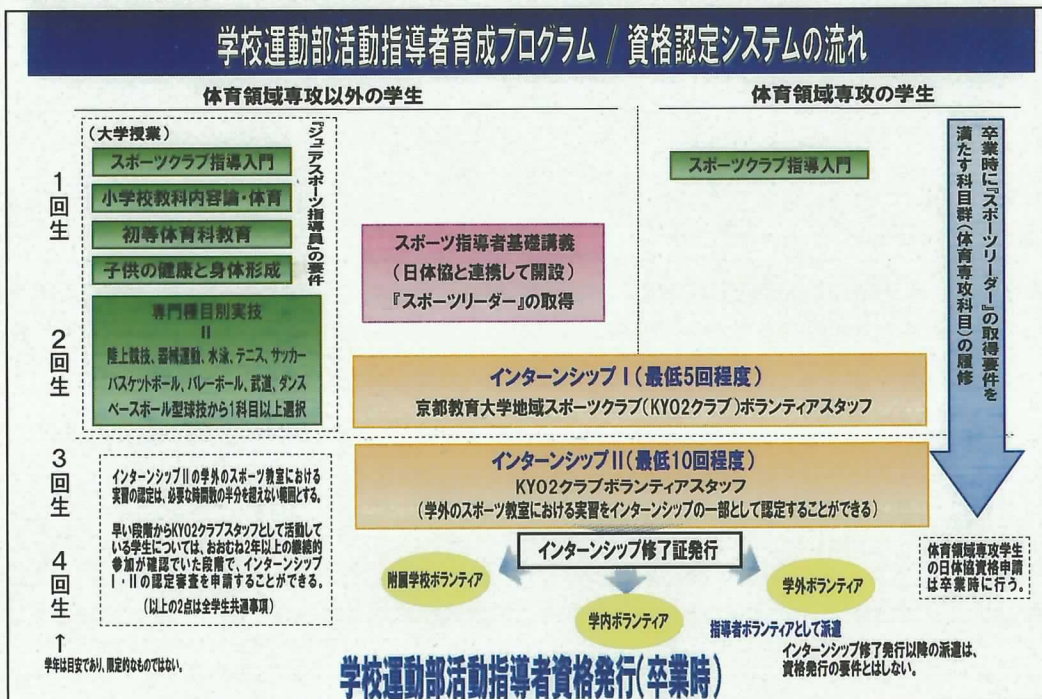
教育支援センター

Educational Support Center

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

## 京都教育大学 学校運動部活動指導者育成事業について

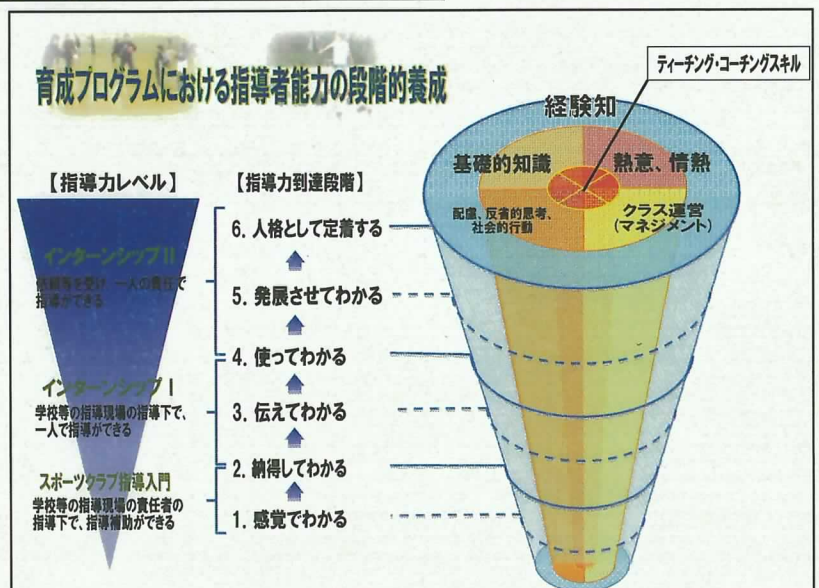
現在、実地教育部門の一事業として、学校運動部活動指導者育成事業が行われています。今回は、この事業について詳しく紹介します。本事業の目的は、子どもの体力や運動能力の低下、部活動を指導できる教員の不足、スポーツ指導に関する専門的知識や運動経験に乏しい教員による部活動指導の現状を踏まえ、運動部活動や体育行事を安全に効果的に指導できる実践的指導力、マネジメント力を持つ教員を育成することです。平成23年度末に初のプログラム修了者を輩出し、24年度も修了者が教員として現場に出て行きました。下図は本育成事業のプログラムを示しています。



本プログラムは指導者資格認定のコア入門科目であるスポーツクラブ指導入門を基礎とします。本授業は優れた指導者としての土台の構築を目的とし、①運動部活動やスポーツクラブなどに関する講義、②基礎的実技能力を養う実技、③KYO2 クラブ小学生教室(陸上、体操、サッカー、バスケットボール)における実地指導、④研究討論会による振り返りを行います。本プログラムの特色として現場経験の豊富な退職教員を客員教授として招聘しており、少人数グループでの密着した指導を行っています。

スポーツクラブ指導入門修学生は、指定された授業科目の履修に加え、本プログラムのメインである KYO2 クラブ小学生教室におけるインターンシップに進みます。インターンシップでは、①指導内容の考案、②実地指導、③学生スタッフでの反省会、④客員教授との振り返りを繰り返し、本プログラムで設定する指導者能力の段階的養成を行います(右図)。

本事業のコア科目であるスポーツクラブ指導入門は前期科目です。新入生および2回生にはパンフレットを配布し、4月初めに資格認定およびプログラムの説明会を行っています。本年度の資格認定プログラムのスタートラインに立った学生は23名ですが、さらに多くの学生が運動指導に関する知識と経験を持ち現場に巣立って欲しいと考えています。部活動指導に限らず、小学校教員を目指す学生は体育の授業で子どもたちの将来につながる体力、運動能力を育むことに関わります。次年度も4月初めに説明会が行われる予定です。「他大学では受けることのできない独自のプログラム」として、各学科においても広報等ご協力よろしくお願いいたします。





## 留学生と地域住民との交流プログラム



平成25年度第2回は、7月31日(水)に「ドイツのバイエルン州について」と題して、姉妹校のエアランゲン・ニュルンベルク大学からの特別聴講学生のホイケロート・リーケさんにお話し頂きました。



ドイツ最大の州であり、ミュンヘンを州都とするバイエルン州には、シーメンスやBMW、アディダス、プーマなどの企業がある世界屈指の経済地域であり、また、自然も豊かで多くの歴史的建造物も残っている所だそうです。多くのプロサッカーチームもあり、日本人選手も人気が高いそうです。リーケさんのお父さんは、ドルトムントが負けた時に「香川選手がいてくれたら・・・」と呟かれたとのことでした。

ドイツの教育制度は、10歳の時にそれまでの成績によって3つのコースに分けられ、高等教育に進めるギムナジウムには50%の生徒が進みますが、最終的に大学に進学するのは30%だそうです。現在、このように小さな時からエリート意識を植え付けるような制度に対し、疑問視する声も出てきて、総合学校への移行も始まっているとのことでした。

次回は10月末に行う予定です。決定次第、メールでお知らせします。



## 留学生交流演習室のboard deco

教育支援センター1階にある留学生・地域交流演習室ホワイトボードに、幼児教育学科のみなさんが可愛い貼り絵をしてくれています。

7月は、天の川に織り姫と彦星。笹の葉さらさら、お星様キラキラのなか、2人は出会えたのでしょうか？



センターへお越しいただき、学生たちの力作をご覧ください。

なお、センター改修工事のため、新しい貼り絵は、次年度4月までお待ち下さい。

## 学生ボランティアについて

### ボランティア活動に関して、学生に周知していただきたいこと

1. 学生が公立学校等でボランティア活動をする場合、必ず、教育支援センター内の地域支援推進室で登録するようお願いいたします。正式に大学に登録しておくことで、例えば、教員採用試験の書類作成の際に、ボランティア活動の実施について大学側で承認することができ、就職にとって有利に働く場合があります。
2. 京都府内だけでなく、さまざまな地域での多様な学校ボランティア（時間的にも）を紹介することができますので興味関心を持っている学生には、ぜひ、一度、地域支援推進室に来室するようお願いください。

【教育支援センター内：地域支援推進室】 Tel 075-644-8336 Eメール sien@kyokyo-u.ac.jp

受付時間 月曜日・木曜日 11時～14時 金曜日 11時～15時 担当：河内（かわち）

### 教育支援センター スタッフ

センター長(併)	水山 光春	075-644-8281	mizuyama@
教育実践連携部門	樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
実地教育部門	小林 稔	075-644-8229	mkoba98@
実地教育部門(兼任)	小山 宏之	075-644-5303	koyama@
モラル・人権意識向上教育部門	関口 久志	075-644-8326	sekihisa@
特任教員(京都市教育委員会)	池田 忠	075-644-8214	ikedat@
特任教員(京都府教育委員会)	竹花 裕子	075-644-8216	yuko627@
事務補佐員 センター全般	杉本 恭子	075-644-8335	kyoko@
事務補佐員 地域支援推進室	河内真由美	075-644-8336	sien@
教務補佐員 学校運動部活動指導者育成事業		075-644-8143	

TEL 075-644-8335 FAX 075-644-8339 E-mail cert@kyokyo-u.ac.jp



# 9月17日(火)より、改修工事のため閉館します。